



## 友達、親戚、家族、兄弟姉妹、これを読んでくださる皆さんへ 2024年2月1日

皆さん、元気になっておられるでしょうか？心からそう願っています。

新年初日から、さまざまな惨事が起こりました。被害に遭われた方々へのイエス様のあわれみを、お願いするばかりです。被害に遭われた方の必要が、できるだけ早く与えられますよう、また、私たち一人ひとりにできることで、彼らを援助するよう、私たちを導き、助けてください。イエス様、よろしくお願いします。

### イエス様を知ってほしい

私は、このレターを、クリスチャン以外の多くの友達、親戚、家族、そして、何らかの方法でこのレターを読んでくださる方々に宛てて書いています。クリスチャンじゃない方にとっては、時には、全く現実離れした変な内容に思われるかもしれませんが、しかし、私は、その方々に、どうしても、イエス・キリストとゴスペル（永遠の命の望みである良い知らせ）を知っていただきたいのです。

### ヨハネによる福音書3章1～21節 また？

これまで、私は、この箇所を、何回、人々に話したんでしょうか？でも、もう1回。

ニコデモとイエス様の会話です。

ニコデモは、イエス様のところに來たのですから、イエス様のことを知りたかったのです。私たちも、人々がイエス様を知りたくるように、

そのように、イエス様のことを、他の人に話させてもらいたいですね。「イエス様、どうか、そのようにさせてください。よろしくお願いします。」

「まことに、まことに、あなたに言います。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」（3節）

英語では、“Very truly I tell you, no one can see the kingdom of God unless they are born again.”です。

“I see.”

イエス様のこの言葉に、イスラエルの教師であるニコデモはびっくりしました。不思議がりました。全く理解できないのです。

英語で、“I see ~”と、よく言いますが、「私は見ます。見えます。会う。等」そういう意味ですね。しかし、一般に、“I see.”とだけ言う時は、「わかります。わかりました。」という意味です。そのことから、ここで、イエス様の言われている「見ることができない」というのは「わからない。理解できない」と言っておられるのです。ですから、ここでイエス様は、「新しく生まれなければ、私（イエス様）のことが、神様のことが、聖書のこと、すなわち、「神様の真理」は、全くわからないのです、理解するのは無理なのです、と言われたのです。

## 新しく生まれる

英語で、“born again”です。この言葉は、1960年代の中頃から、アメリカをはじめ、世界の多くの国で、よく使われ、聞かれた言葉でした。それは、世界の国々で、多くの人々が、新しく生まれたからです。そのことは、ただの流行ではありませんでした。それは、イエス・キリストのゴスペルを聞いた多くの人々の開いた心に、神が、直接行われた、御業だったのです。

私は、これから先、日本で、“born again”（新しく生まれる）という言葉聞くのが、日常茶飯事になるのを、強く願っています。そのことで、「イエス・キリストのことは、本当なのか？それとも、ただの作り話なのか？聖書はどうか？」と、人々が、ゴスペルのことを考える時になるのを願っているからです。これから、私たち日本人の番です！

余談ですが、「新しく生まれる」のは、「改心する」のとは違います。イエス様の言葉は、「新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」です。ですから、改心しても、神の国を見ることはできないのです。

### 新しく生まれるって？ ということ？

「人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国にはいることができません。」（5節）

生まれるのには、2つの生まれ方があるとイエス様は言われるのです。

ニコデモは、ますますわからなくなったみたいです。水によって生まれるとは、肉体的に、母の胎からこの世に生まれ出ることです。もう1つは、「神様の霊によって生まれることです。」「神様の霊で？」そりゃあ、わかりませんよね。初めて聞いたら、誰が聞いても、不思議に思いますよね。とまどいますよね。ニコデモは、肉体的にもう1回生まれることしか考えられなかったのです。そ

れもありえないしい。しかし、ニコデモは、以前から、イエス様が行われたことを見たり、また、話されたことを聞いていました（ヨハネ3・2）。それで、イエス様を知りたくて、たった一人で、夜、イエス様のところに来たのです。ですから、イエス様は、そのニコデモに、霊によって生まれるということがどのようなことか、その後で、彼の心に教えたのです。間違いありません！（ヨハネ19・39）

ニコデモがそうであったように（私もそうだった）、もし、現在、私がこのことを人に話すなら、不思議がられたり、また、変に思われたりします。当然でしょうね。それは、イエス様のことが、人間以上のことだからです。しかし、たとえ、人からどう思われたとしても、私は、どうしても、このことを人に話してあげなければなりません。なぜなら、霊によって、新しく生まれなければならぬ、ゴスペルが、どうしてもわからないからです。永遠の命の希望がどうしてもわからないからです。

### それでは、神は、誰が、霊によって生まれるようにされるのですか？

それは、誰でも、心から、「もし、イエス様のことが本当で、現実であれば知りたい。天と地のすべてのものを造られた神様が、本当におられるのなら知りたい。私にも、教えてください。」と、まだ知らないイエス様に、お願いするのです。そうすると、イエス様は、その人に、霊で生まれるようにしてくださるのです。「エーッ？」「そうです。して下さいます。」私が、ここに書いたことは、すべて、聖書の中に記されていることです。ですから「聖書に記されていることが本当なら知りたい」と、その願いで、聖書を読みます。思い出してください。「信じるというのは、決断や決心ではありません。」聖書に書いてあることは、本当なんだ！と、自分の意思で決断することはできません。しかし、天と地のすべてのものを造られた神様は、すべての人の心を知っ

ておられます。そして、誰が、「本当なら知りたい」と願っているかをご存じなのです。その人の心に、イエス様は、イエス様ご自身と、ゴスペルの真理を教えてください。まさに、「探しなさい。そうすれば見つかります。」と言われたイエス様の約束の言葉通りです。イエス様が、本当におられるのなら、尋ねたら、教えてください。必ずです。

## 聖霊

今日は、霊の話になりましたが、イエス・キリストが言われる霊に関して、聖書にはたくさん書かれています。しかし、人は、まず、イエス様ご自身を知ることが先です。4つのゴスペル（福音書、良い知らせ）を読む時、イエス様がどのような方かを知ることができます。人が、「もし本当なら知りたいの心で、聖書を読む時」に、イエス様の言われる霊が、悪い霊ではない、間違った霊ではない、偽りの霊ではない、そのようなものではないことがわかります。真の神様の霊は、聖い霊（聖霊 Holy Spirit）です。清い霊です。偽りのない霊です。正しい（正義）の霊なのです。神様は、聖い方です。そして、神様は、恵み深く、あわれみ深い方なのです。

## 人の心に語るのは、イエス様の聖霊

私は、イエス様の助けをお願いして、イエス様のゴスペルを人に話すのですが、ちゃんと説明できなかつたり、わかりやすく説明できなかつたり、また、話しすぎたりするを経験してきました。重苦しい雰囲気を作ってしまうことも多々ありました。ですから、続けてイエス様に助け（聖霊の助け）をお願いして、永遠の命の希望を伝えさせてもらいたいです。反省はあっても、後悔はありません。私たちは、人々が永遠の命の望みを知りたいことを願って、心から、イエス様が喜ぶようにさせてもらいたいですから。結局のところ、イエス様のことを聞いてくださる人の心に語るのは、イエス様の聖霊なのです。

## 年明けからの地震

イエス様、どうか、被害に遭われた方々をあわれんでくださり、助けと必要を、できるだけ早く与えてください。この時に、イエス様の言葉に、想いを潜めます。

## ノアの日よう

「イエスがオリーブ山ですわっておられると、弟子たちが、ひそかにみもとに来て言った。『お話しください。いつ、そのようなことが起こるのでしょうか。あなたの来られる時や世の終わりには、どんな前兆があるのでしょうか。』そこで、イエスは彼らに答えて言われた。『人に惑わされないように気をつけなさい。……戦争のことや、戦争のうわさを聞くでしょうが、気をつけて、あわてないようにしなさい。これらは必ず起こることです。しかし、終わりが来たのではありません。民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、方々にききんと地震が起こります。しかし、そのようなことはみな、産みの苦しみの初めなのです。』

（マタイの福音書 24 章 3～14 節）

「この天地は滅び去ります。しかし、わたしのことは決して滅びることがありません。ただし、その日、その時がいつであるかは、だれも知りません。天の御使いたちも子も知りません。ただ父だけが知っておられます。人の子が来るのは、ちょうど、ノアの日のようなからです。洪水前の日々は、ノアが箱舟にはいるその日まで、人々は、飲んだり、食べたり、めとったり、とついだりしていました。そして、洪水が来てすべての物をさらってしまうまで、彼らはわからなかったのです。人の子が来るのも、そのとおりです。」

（マタイの福音書 24 章 35～39 節）

人の子（人となって、この世に来られた神様であるイエス様）が、再び、来られる時の前兆に、

紛争、戦争、ききん、地震、などがあります。そして、その後で、イエス様が来られる時は、ちょうど、「ノアの日のように」と、イエス様は、言われました。

### 「大洪水がくるぞー！」

私の想像は、間違ってるかもしれませんが、私は、ノアが、箱舟を作っていた時のことを想像するのです。

ノアが箱舟を作っていた時、彼は、黙って箱舟を作ったのだろうか？ 黙々と？ 私は、そうは思わないのです。彼は、大声で叫びながら、箱舟を作っていたと想像するのです。「大洪水がくるぞー！」と、そのように。

なぜ、彼は、箱舟を作ったのでしょうか？ それは、大洪水が来るので箱舟を作るように、神様から言われたからです。それを聞いたノアは、「まさかそんなことが…？」とは考えませんでした。彼は、箱舟を作り始めたのです。神様が、その役のためにノアを選んだのです。神様は、ノアにそのことを話す前から、ノアが神様の言葉に従って箱舟を作ることを既に知っていました。しかし考えてみてください。いつ来るかわからない大洪水。いつ出来上がるかわからない大きな箱舟。しかし、ノアは作り始めたのです。それは、神様が、ノアにそうするように言われたからです。

### 決して滅びることのない、イエス様の言葉

その箱舟を作るのに 100 年かかりました。作り始めて 50 年くらいたった頃に、「本当に大洪水が来るのだろうか？」ノアが、そんなことを考えたと思いますか？ もしそうなら、箱舟を作る

なんてアホらしくて、やめてしまったでしょう。そのことを考えながら、私は、自分に向かって、言ってみるのです。「俺は、どうなんだ？」なぜか、泣くね…。イエス様は、「この天地は滅び去ります。しかし、わたしのことばは決して滅びることがありません。」と言われたのです。イエス様なしには、人は、全て滅びると言われたのです。このことは、ヨハネ 3 章 16 節の言葉を含めて、そう言っておられると私は確信しています。

上に書いた聖書の箇所、イエス様は言われました。人の子が、再び地上に来るのは、ちょうど、ノアの日のごとくだと。イエス様は、ノアのことを話して、私たちに、心の準備をしているように言っています。ノアは、ただ、神様に言われただけで、箱舟を作りました。

私たちも、ノアと同じですよ。 「イエス様なしには、人々は滅びると、言われたから…」 「出て行って福音（ゴスペル）を宣べ伝えなさいと、言われたから…」 そう言われたから、私たちは、永遠の命の望みである福音（良い知らせ）を、全ての人に、叫ぶのです。イエス様は、ノアを引き合いに出して、私たちに励ましています。「私が言ったことは、必ずそのようになります。」と。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。」

(ヨハネの福音書 3・16～17 節)

*Noboru Morishige*

ザ・デイ / 森繁 昇

〒744-0019 山口県下松市桜町 2 丁目17-24  
FAX▶ 0833-91-6492  
E-mail▶ thewindisblowing@hotmail.com  
HP▶ <http://thedaywill.com>

振替口座▶01330-4-93687 ザ・デイ

**Noboru Morishige**  
P.O.BOX 1666  
KEAAU, HAWAII 96749 U.S.A  
TEL ▶ 808-966-9252